

すぎなさん



三宅小学校同窓会 会報 第16号 令和3年3月15日発行

三宅小学校全校児童数 91名（男48名 女43名）令和3年3月現在

ご挨拶 三宅小学校同窓会長 井ノ口 清浩(第57回 昭和41年卒 井ノ口区)



コロナ感染が心配される毎日ですが同窓会員の皆様には、御健勝でお過ごしのことと拝察申し上げます。日頃は同窓会活動に対しまして深いご理解と、御協力・支援を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年の今頃は、この様な状況に成ろうとは誰もが予期しなかったと思います。『自粛』が叫ばれる中、次々と『密』に成る行事・イベント等が中止と成り、教育現場にも影響は及び保護者や子供達が辛い思いをしたことでしょう。しかし、授業の在り方や、できる範囲での学校行事で子供達の思い出作りにご尽力頂きました現場の先生方のご苦勞に感謝申し上げます。中でも校内体育大会や地域交流会、そして県内での修学旅行は良い思い出に成ったのではないのでしょうか。特に地域交流会では、多くの地区民の方から昔の遊び等を教えて頂く等、楽しいひと時でした。当日お世話頂きました皆様に感謝申し上げます。

コロナの他にも子供達が事故や犯罪に巻き込まれないかが大きな心配です。地域の皆様には子供達が悲しい目に遭いません様、温かく見守って頂けます事を今一度お願い申し上げます。そして、子供達には感謝の心・思いやりの心を持った大人に健やかに成長して欲しいと思います。

私は今年度で退任します。在任中にお世話に成りました地域の皆様、学校関係者の皆様、同窓会員の皆様方の御健勝と御多幸、そして三宅小学校の益々の御隆盛を御祈念申し上げ退任の御挨拶とさせていただきます。

感謝

みやけの里 三宅小学校長 塚本 嘉夫(第67回 昭和51年卒 仮屋区)



同窓会の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃は本校の教育活動に多大なるご支援をいただき、誠にありがとうございます。今年度より三宅小学校に勤めさせていただいております。卒業の年に開校100年記念式典が行われ「友情」の石の除幕式がありました。その石に見守られながら登校してくる子どもたちと挨拶を交わすのが楽しい日課のひとつとなっています。

さて、今年度、三宅小学校は創立110周年を迎えました。子どもたちは、同窓会の皆様はもとより多くの方々を支えられ、恵まれた環境のもと、歴史と伝統あるこのみやけの里で充実した学校生活を送り、日々たくましく成長しています。11月には、保護者、地域の皆様の絶大なるご支援を受け、三宅小学校地域交流会を実施しました。コロナ禍ではありましたが多くの方々に来校いただき、演奏やクラブ発表、餅米やネギ販売、各ブースの運営等、子どもたちが生き生きと活動する姿をご覧いただくことができました。また、クラフト体験、伝承遊び、防災・下水道展示コーナー、輪投げ等を催していただき、大いに交流を深めることができました。子どもたちは、この交流会をはじめ様々なふるさと学習を通して、地域の皆様の温かさに接し、感謝の気持ちを持つとともにふるさとの良さを実感しています。こうした経験がふるさとを愛し、ふるさとを大切にしていこうという気持ちにつながっていくのだと思います。

今後も、子どもは地域の宝という思いのもと、家庭、地域とのつながりを大切にしながら、ふるさとを誇り思い、よりよい社会を創造しようとする子の育成を目指して、様々な教育活動に取り組んでまいります。同窓会の皆様には変わらぬご支援ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

同級生

第62回（昭和46年卒）森上 美紀男（三宅区）

平成30年9月、三宅地区体育大会開催中の集落応援テント裏でいつものように同級生数人で雑談中、「来年、還暦やし、みんなでどっか行くか」と提案がありました。その時は誰も反対せず解散しました。

翌年、年号が令和になった頃、地元に残っている男女が集まり自然に実行委員会が立ち上がり、令和元年7月に1泊2日で伊勢神宮参拝ツアーとなりました。昭和45年度卒業生37名全員の名簿は既にあり、加えてグループラインも利用して出欠連絡をとりました。宿泊先は、こちらで予約し、バスは旅行者に依頼しました。

当日の朝は天候にも恵まれ、終始和やかな雰

囲気でした。久しぶりの再会でも顔を見れば瞬時に打ち解けられる、同級生ならではの感覚なのでしょうか。話の内容は、定年後の事や家族、健康など尽きることなく続けました。別れ際に、今度は出雲大社に行きたいと盛り上がり解散となりました。

令和2年は、コロナ感染防止対策で地区行事がほとんど中止となり、同級生と顔を合わす機会もなく寂しい年でしたが、コロナが収束すればすぐにでも出雲大社行きを計画しようと思います。その時は、いつもの場所で嫌と言わない同級生が集まり、必ず実行しましょう。招集日まで、名簿は大切に保管しておきます。



【第62回卒業生のみなさん】百周年記念誌より

「ときめきと感動」を子供たちに

第62回（昭和46年卒）田中 正美（神谷区）

還暦も過ぎ、薄れゆく記憶の中から半世紀（50年）前の小学生時代を振り返ってみると、特に印象に残っている二つのことを思い出す。

まずは給食で飲んだ脱脂粉乳。あれは本当に不味かった。特に食器の表面に張る膜が口に入ったなら、もう最悪。確か5年生頃に今の牛乳に代わったと思うが、あの脱脂粉乳の味は今でも舌の奥に記憶として残っている。因みに、好きだったのは「鯨のカツ」。今では鯨は商業捕鯨等の禁止でほとんど口に入らなくなったが、当時の給食でカツといえば鯨だった。美味しかったなあ～。

次に思い出すのが修学旅行。丁度「大阪万博」の開催時期と重なり、太陽の塔をはじめ、二、三のパビリオンを見学出来たこと。当時アポロ11号の月面着陸の様子がテレビで何度も放映され、家族で食い入るように見ていた。その実物大の着陸船と実際に持ち帰った「月の石」が見れるんだと、あの時アメリカ館入口で

感じた「ときめき」、そして館内で実物を見た「感動」は今でも忘れない。幼いながらも未来の世界に夢と希望を抱いた貴重な体験だった。

しかし今年度は、その修学旅行並びに小学校の各イベント等がコロナ禍で中止や延期、縮小となったと聞き、残念で仕方ない。子供たちの心が閉ざしてしまわぬよう一刻も早くコロナ禍が沈静し、子供たちに少しでも多くの「ときめきと感動」を与えられる環境に戻れることを心から願うものである。



みやけの里に繋がる想い

第75回（昭和59年卒）玉井 裕子（三宅区）

私が三宅小学校を卒業して38年が経ちます。年を取るはずです。

卒業して中高生になっても地域の行事などで小学校へはよく出向き・・・大学生の時は淡い夢を抱いて母校で教育実習をさせて頂き・・・生まれ育った三宅に戻り、我が子も三宅小学校に通い・・・私の人生で三宅小学校はずっと足を運ぶ場所なので、懐かしいよりも親近感のある存在です。

私は現在三宅地区にある介護施設で仕事をさせて頂いているのですが、ここでの毎日には、まさに三宅小学校の同窓生の方がたくさん利用して下さっております。三宅小学校の思い出を振り返るに当たり、私のことよりも卒業されて久しいデイサービスのご利用者様からお聞きしたお話をご紹介したいと思います。

日中活動の中で、子どもの頃を懐かしみ、みんなで歌を歌おう、という場面があるのですが、数ある唱歌の間に私がピアノで♪ド～ドソソラソファミレ～と弾いてみると、皆さんが「あれ、三宅の校歌やな。」「み～やけのさとに～もえいづる」とたちまち歌詞とメロディーが蘇ってこられ暗唱されるのです。（ここで余談になりますが、私が今でも校歌の楽譜を覚えているのは、小学校時代鼓笛隊の演奏活動がとて盛んで、夏休みに大きな楽器を抱え行進しながらの演奏練習が大変だったことが思い出され、今でもしっかり覚えているのです）

そんな校歌が懐かしい思い出と結びついて、それをきっかけにたくさんの思い出話に花が咲

きます。

「すぎなさんに水飲みに行っては栗を拾ってもう勉強が始まっって先生に叱られたなあ」

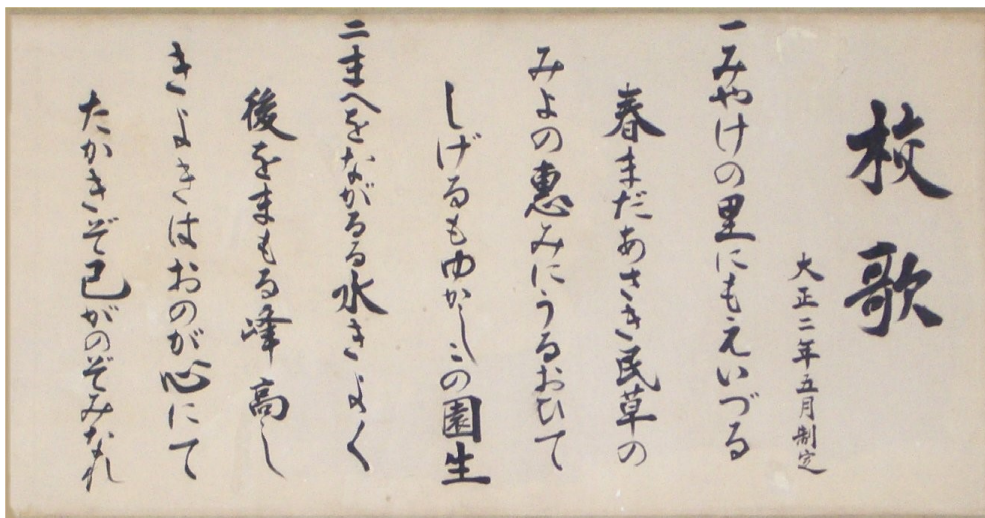
「私らの頃はろくに勉強しとらん。今ある校庭が昔もあって、あそこに一面大豆を植えて、仕事させられとった」「朝、学校に行く時は、春は田んぼにおるクロチンヅウ(?)を採って、秋はイナゴを採って先生にもって行ったなあ」

「ほんまやほんまや～。臭い虫やったなあ。イナゴは先生が茹でとんたわ」等々・・・。まだまだたくさん話題があるのですが、書ききれないのが残念です。

当たり前ですが、この高齢者の方々にも子ども時代はあって、何十年経っても小学校の頃の古い記憶もいつまでも脳裏にしまい込んであり、改めて思い出されてお話しされる顔はとても素敵な笑顔です。

私の小学校の思い出は個人的な体験による懐かしさですが、高齢者の方からうかがえる思い出は実体験はもちろんのこと、社会的な懐かしさもあり、若い者が聞かせて頂いてとても興味深く、とても貴重なお話なのです。

私の身近におられる三宅小学校同窓生の方はとても大切な話をして下さる存在です。皆さんも、ご家庭などで世代を超えての同窓生がいらしたら、食後のひとときにも、ご一緒に小学校時代を振り返ってみられてはいかがでしょうかでしょう。



【地域交流会】 2020. 11. 21

学校と保護者・地域とが連携して、学校の子どもたちとご家族、地域の方々が、昔遊びやネイチャークラフト、輪投げなどのいろいろな体験を通して交流を行いました。また、防災や下水道について学びました。ボランティアさんや公民館にお世話になって栽培した、ネギやもち米の販売も行われ、大変好評でした。



三宅小学校 同窓会費 決算報告

収入の部

| 項目 | 金額(円) | 備考 |
|-------|---------|-----------|
| 前年度繰越 | 387 | |
| 会費 | 119,100 | 300円×397人 |
| 入会金 | 10,500 | 500円×21人 |
| 貯金利息 | 0 | |
| 計 | 129,987 | |

支出の部

| 項目 | 金額(円) | 備考 |
|---------|---------|--------|
| 事務費 | 6,839 | 切手、用紙 |
| 会議費 | 0 | 紙面決議 |
| 同窓会会報誌 | 53,752 | トナー、用紙 |
| 維持管理費 | 50,000 | 芝生管理 |
| 同窓会事業基金 | 15,000 | 積立 |
| 計 | 125,591 | |

※今回から、会報誌は学校で印刷することになりました。



【芝生でのグラウンドゴルフ】

同窓会費の一部は、学校の芝生広場の管理に使わせていただいています。

差引残高

4,396円は、次年度の会計に繰り越させていただきます。

令和3年3月2日

編集後記

ここに皆様の母校への思いがこもった「すぎなさん第16号」が完成いたしました。この発行を通して旧交を温めていただけましたら幸いに存じます。最後になりましたが、今後益々の同窓会員皆様方の御健勝をお祈り申し上げます。

同窓会会報誌は、三宅小学校ホームページでも配信しています。

<http://edu.town.wakasa.fukui.jp/s-miyake/>

令和2年度

三宅小学校同窓会 会報誌編集委員

田中 俊道 (三宅区理事 第62回卒)
 森上 美紀男 (三宅区理事 第62回卒)
 田中 義弘 (神谷区理事 第61回卒)
 田中 正美 (神谷区理事 第62回卒)
 大谷 由喜男・谷口 文代 (同窓会幹事)

同窓会事務局 住所

〒919-1542
 福井県三方上中郡若狭町井ノ口49-11
 三宅小学校内
 電話 : 0770-62-0005
 FAX : 0770-62-0038
 電子メール : miyake-es@edu.town.wakasa.fukui.jp